

## 命を守る行動 ー避難訓練実施ー

梅雨の季節がやってきました。自分の命は自分で守る児童の育成のため、6月8日には、2つの災害を想定した避難訓練を行いました。

一つ目は、**水害・土砂災害**を想定した避難訓練です。一昨年度の西日本豪雨災害において、本校近隣の山も崩れ、土砂が流入してグラウンドが冠水するという被害を受けました。それまでは、高台となる近くの山に避難していたのですが、その経路はかえって危険だということになりました。そこで、昨年度からは、大雨や洪水の時は、校舎の高い階に移動することにしています。合図とともに、子供達は決められた教室に並んで移動しました。今回は、コロナ対策ということもあり、1つの教室に詰め合うことは避けましたが、速やかに移動することの大切さは理解できたかと思えます。



静かに3階に避難する1年生



火災の時は、運動場に避難

二つ目は、**火災**に対する避難です。今回は、理科室が出火場所ということで、理科室から離れるように校舎の外に出て、グラウンドに集合するようにしました。避難時の合言葉「おはしも」(おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない)を意識しながら、みんな真剣に取り組みました。

特に、これから出水期となると、学校にいる間だけでなく、家庭にいる時においても、避難が求められることが想定されます。御家庭においても、土砂災害携帯マニュアルを確認していただきながら、いざという時慌てずに避難できるよう、話し合っておいてください。また、今年度、保護者引き渡し訓練は実施しませんが、いざ警報が出て学校に迎えに来てもらう時には、別にお配りするマニュアルをよく読んで、動きをシミュレーションしておいてください。



昨年度4年生が描いた安全ポスター